

4. グローバルな視野での対応

理想科学は、海外事業活動および製品輸出に際して、
現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に応えられるように努めています。

解説1 エコステージ

環境マネジメントシステムの一つ。

解説2 RoHS指令

EUにおける電気電子機器に含まれる
特定危険物質の使用制限に関する指
令。6物質群の使用を制限しています。

解説3 REACH規則

EUにおける化学物質の登録・評価・認
可・制限に関する規則。化学物質をその
量に応じて適正に登録・管理すること
が求められ、物質の量と毒性に応じた
管理レベルが要求されています。

グリーン調達

当社は、環境配慮型製品を提供するために、グ
リーン調達を進めています。

製品のライフサイクル全体で発生する環境負
荷を低減するためには、製品を構成する部品や原
材料についても環境に配慮することが必要です。
当社は「理想科学グループ グリーン調達基準」を
定め、グリーン調達の基本的な考え方や基準を明
確にするとともに、取引先に対し、環境マネジメ
ントシステムの構築を要請しています。現在、国内外
の取引先の90%が構築済みで、環境マネジメント
システムの運用の中で化学物質の管理を実施し
ています。環境マネジメントシステム未構築の取
引先には、構築ならびに第三者認証(ISO14001、
エコステージ^{解説1}など)の取得を要請するととも
に、2007年からは取得支援を実施しています。こ
れまでに9社がエコステージを認証取得し、
2009年3月末までに予定していた取引先全ての
認証取得が完了しています。

また、環境マネジメントシステム第三者認証未
取得の取引先には、グリーン調達監査を実施し
「理想科学グループ グリーン調達基準」で要求し
ている化学物質の管理基準が満たされているこ
を確認しています。2008年度は国内14社、
海外9社を対象に、グリーン調達監査を実施し、
いずれも基準を満たしていることを確認しまし
た。グリーン調達監査は今後も継続して実施して
いく予定です。

理想科学グループ グリーン調達基準(骨子)

- ①環境課題に対する改善取り組みを積極的に行っ
ていること。
- ②適用を受ける環境関連法・条例などが遵守されて
いること。
- ③製造工程及び製品を構成する調達品に当社が定
めた使用禁止物質が含まれていないこと。

化学物質の管理

製品への配慮

国際社会では、EUのRoHS指令^{解説2}制定以
降、グローバルレベルでの法規制の整備が進んで
おり、規制内容も厳しくなりつつあります。

当社は、こうした法規制に対応するため、膨大な
点数の部品・原材料に含まれる多種多様な有害化
学物質を管理するための「製品環境情報システ
ム」を、2008年度に導入しました。このシステムに
よって、グローバルな法規制への対応状況の確認、
ステークホルダーからの問い合わせへの迅速な回
答、環境配慮設計へのフィードバックなど、正確か
つ効率的な化学物質管理が可能となりました。

また、2007年6月に発効したREACH規則^{解説3}
にも対応するべく取り組んでいます。2008
年度は、当社が使用している化学物質を調査し、
規則に該当する物質について予備登録を行いま
した。また、高懸念物質・認可候補物質の調査およ
び管理も行っています。今後も、決められた期限ま
でに本登録・届出等を着実に進めていきます。

仕入れ先企業への要請

当社は、製品への有害化学物質の含有を制限
するため、使用禁止物質として15物質群、使用配
慮物質として9物質群を厳正に管理しています。

これらの有害化学物質が部品・原材料に使用さ
れないよう、仕入れ先企業に対しても化学物質管
理の徹底を要請しています。

海外事業所の環境パフォーマンス

理想科学グループは、グループ全体の環境負
荷低減に向けて活動しています。

そのため、グループ全体としての環境負荷を把
握し、世界全体での環境負荷低減活動をより効果
的に進めるために、海外生産事業所については
2007年度から、海外非生産事業所については
2008年度から環境負荷データの把握を行って
います。集計結果は次頁の通りです。



VOICE!



珠海理想科学工業
有限公司
上海分工場
工場長
門脇 昭男

ISO14001の認証取得

2008年10月から、ISO14001の認証取得の準備を開始し、2回の外部監査を経て、2009年5月に認証を取得しました。

確実に認証を取得するために最も重要視したことは、「環境に対する意識と取得の意味付け」を事業所全員に浸透させることでした。報道にもあるように、中国においては、環境保全や廃棄物の処理に対する意識がまだまだ弱い面があります。だからこそ、理想科学の製品をお客様に継続してお買い上げいただくためには、当社の環境に対する取り組み姿勢や商品の信頼性をまずは社員が理解することが重要であると考えたのです。

認証取得までの期間は短く、大変多忙な毎日でしたが、認証取得チームの牽引と全員のがんばりが、イメージしていた通りの活動と成果につながりました。また活動を進める中で、問題点や課題の抽出およびその対策を実施したことで、事業所運営が強化された点も大きな成果だと思っています。

ISO9001に加えてISO14001の認証取得により、遵法性の確保、環境汚染リスクの低減など事業所運営の確実性がより高まるものと期待しています。今後も改善活動を継続的に進めていくことで、さらなる成果につなげていきたいと考えています。

●海外生産事業所のCO₂排出量の算出

電力地域別に1.0119または0.9421 kg-CO₂/kWhを適用。

2000-2006「中国電力年監」、
2004-2006「中国エネルギー集計年監」および「2006 IPCC Guidelines for national Greenhouse Gas Inventories」によります。

燃料種ごとのCO₂排出係数は「地球温暖化の推進に関する法律施行令第3条(平成18年3月24日改正)」に掲載されている換算係数を使用しました。

海外非生産事業所の環境負荷

エネルギー使用量	
電気	183 万kWh
重油	2 kℓ
天然ガス	20 kℓ
社有車の燃料使用量	
ガソリン	801 kℓ
軽油	147 kℓ
水の使用量	
上水	10,305 m ³

集計範囲:理想科学グループの海外13子会社(RISO, INC., RISO FRANCE S.A., RISO (Deutschland) GmbH, RISO EUROPE LTD., RISO (U.K.) LTD., RISO IBERICA,S.A., RISOGRAPH ITALIA S.p.A, RISO AFRICA (PTY) LTD., RISO KOREA LTD., RISO HONG KONG LTD., RISO (Thailand) LTD., RISO INDIA PRIVATE LIMITED, 珠海理想科学工業有限公司)の非生産事業所

海外生産事業所の環境負荷

INPUT	2007	2008	2007年度比%	OUTPUT	2007	2008	2007年度比%		
エネルギーの使用量内訳				CO₂排出量	(t-CO ₂ /年)	1,302	1,214	93	
電気	(万kWh/年)	119	113	95	電気	(t-CO ₂ /年)	1,190	1,127	95
LPG	(t/年)	0.3	0	0	LPG	(t-CO ₂ /年)	1	0	0
A重油	(kℓ/年)	8.3	4	48	A重油	(t-CO ₂ /年)	22	11	50
灯油	(kℓ/年)	0.1	0	0	灯油	(t-CO ₂ /年)	0	0	—
軽油	(kℓ/年)	6.6	4.5	68	軽油	(t-CO ₂ /年)	17	12	71
ガソリン	(kℓ/年)	31.2	27.8	89	ガソリン	(t-CO ₂ /年)	72	64	89
水の使用量				排水量	(m ³)	13,476	11,460	85	
金属	(t)	3,050	2,406	79	蒸気放散・散水その他	(t)	0	0	—
プラスチック	(t)	901	859	95	製品	(t)	6,167	5,913	96
ガラス	(t)	28	2	7					
紙	(t)	542	624	115					
その他	(t)	1,150	1,561	136					
小計		19,643	17,373	88	小計		19,643	17,373	88
					廃棄物排出量*1	(t)	97.2	87.4	90
					再生投入量*2	(t)	0	0	—
					再資源化量*3	(t)	75.3	73.9	98
					その他*4	(t)	18	5.3	29
					埋立最終処分量*5	(t)	3.9	2.3	59

*1 廃棄物排出量:当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて、工程から不要物として排出されるもの全てを廃棄物としています。
*2 再生投入量:再資源化処理されたもののうち原材料として工程に再投入される量。
*3 再資源化量:再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量で、有価物を含めた合計量(工程に再投入されるものは除く)。
*4 その他:再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量などの減量分および処理区分を明確にできないもの。
*5 埋立最終処分量:埋立処分される量。再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含みます。

集計範囲:理想科学グループの海外全生産拠点(中国内の珠海理想科学工業有限公司珠海工場ほか)
集計対象:エネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量、水使用量と排水量、廃棄物排出量。
生産での物質投入量、社有車の燃料使用量とそれに伴うCO₂排出量。
*輸送業者に委託する貨物輸送に伴うデータ、および営業部門でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量は含んでいません。